

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

381

特定感染症予防事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	3	結核予防とまん延防止対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
	中事業		特定感染症予防事業	

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	保健対策課	豊田 忠彦	488-5115
事業実施の根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する	関連課			

## 1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	全体事業概要				
事業目的	特定感染症を早期発見・早期治療することにより、重症化を予防するとともに、感染の予防及びまん延の防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性感染症の検査及び相談の実施</li> <li>・肝炎ウイルス検査及び相談の実施</li> <li>・特定感染症予防の普及啓発の実施</li> <li>・肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業の実施</li> </ul>				
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	・性感染症検査及び相談（保健所実施） ・高校・大学等へのチラシの配布 ・肝炎ウイルス検査（保健所実施・医療機関委託） ・肝炎ウイルス陽性者を把握し未受診者への受診勧奨	・性感染症検査及び相談（保健所実施） ・高校・大学等へのチラシの配布 ・肝炎ウイルス検査（保健所実施・医療機関委託）及び相談 ・肝炎ウイルス陽性者を把握し未受診者への受診勧奨	・性感染症検査及び相談 ・肝炎ウイルス検査及び相談、陽性者の把握、未受診者への受診勧奨	・性感染症検査及び相談 ・肝炎ウイルス検査及び相談、陽性者の把握、未受診者への受診勧奨	・性感染症検査及び相談 ・肝炎ウイルス検査及び相談、陽性者の把握、未受診者への受診勧奨	

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,905	2,194	2,300	1,871	2,103	1,837	1,872	0	1,872	0
伸び率（%）	5%	8.8%	20.7%	△14.7%	△8.6%	△1.8%	△11%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	6,541	6,461	6,554	6,554	4,752	6,766	5,960	0	0
	正規職員以外	0	137	333	48	437	264	297	0	0
	小計	6,541	6,598	6,887	6,602	5,189	7,030	6,257	0	0
国庫支出金	901	1,196	1,170	1,147	1,059	1,208	1,101	0	1,101	0
県支出金	53	47	43	40	43	42	47	0	47	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	951	951	1,087	684	1,001	587	724	0	724	0
所要人数（人）	正規職員	0.82	0.81	0.82	0.82	0.59	0.84	0.74	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.06	0.14	0.03	0.20	0.13	0.15	0.00	0.00
主な予算内訳	検査分析委託料1,023千円、手数料930千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	種類	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
検査・相談の啓発の種類		種類	目標値					
			実績値	7	6	6		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
受検者数（性感染症検査）		件	目標値	250	250	250	250	250
			実績値	178	197	183		
			達成度(%)	71.2%	78.8%	73.2%	%	%
受検者数（肝炎検査）		件	目標値	250	300	300	300	300
			実績値	270	206	148		
			達成度(%)	108%	68.7%	49.3%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>定点報告における性器クラミジア感染症の報告件数が2年以上100件を超えており、10代から20代前半の感染も報告されていることから、若年層への性感染症予防のため普及啓発が必要である。</p>
見直し・改善内容	<p>SNS等の活用など若年層に対する啓発を強化し、受検者の増加を図る。</p>